朝日放送グループホールディングス株式会社

2025年6月26日

第98回定時株主総会の概略

1. 開催日時　2025年6月25日（水）午前10時00分
2. 場所　朝日放送グループホールディングス株式会社　ABCホール
3. 所要時間　71分
4. 出席株主数　142名
5. 事前質問状　0通
6. 質問株主数　11名
7. 質問　15問（事前にWEBで寄せられた質問３つを含む）
8. 議案について　４つの議案が全て賛成多数で承認可決されました。

第１号議案「剰余金の処分の件」

第２号議案「定款一部変更の件」

第３号議案「取締役（監査等委員である取締役を除く。）９名選任の件」

第４号議案「監査等委員である取締役１名選任の件」

＜主な質問及びその回答要旨＞

Q1. 株価・PBRの現状に関する当社の見解と改善施策について

A1. 現状の株価やPBRの水準については認識をしており、株価向上には収益力と資本効率の向上、適切な還元、IR活動が重要と考えている。グループ社を6つの戦略的事業グループに再編しており、今後、共通戦略を基にした取り組みを通して収益力向上を図る。また資本効率向上を目的として、不動産売却や政策保有株式の圧縮を進めることで生まれた原資を成長投資と株主還元のバランスを取りながら活用する方針。

Q2. コンプライアンス・ガバナンスの現状認識と、今後の方針・施策について

A2. 当社は、昨年制定した「朝日放送グループ人権方針」に基づき、人権デューディリジェンスの一環として今年２月に無記名の全社アンケートを実施した。結果は当社ホームページで公開済みであるが、出演者ら番組関係者との会食への出席を上司らから強いられた、性的な被害を受けた等の事案の回答はなかった。また、アンケートを通じて把握した認識意見等については、分析・評価の上、研修に活かすなど、職場環境のより一層の改善に役立て、全社員が安心して働ける環境の維持と、株主・ステークホルダーに信頼される企業経営を推進する。

Q3. 大阪・関西万博の取り組みと業績に対する影響について

A3. 当社は地元関西の企業として、万博の魅力を情報番組等で発信している。業績への影響については、万博関連の広告出稿や、グループ会社「マッシュ」におけるイベント事業の受注もあり、ポジティブなものと捉えている。今後も引き続き地域社会に貢献しながら、万博の成功を支援していく。

Q4. 女性役員の育成方針について
A4. 本株主総会後、社外取締役８名のうち３名が女性となる予定である。一方、当社出身の女性執行役員は現在１名であり、直ちに人数を増やすことは難しいが、女性管理職の育成強化や、女性採用比率を上げるなどの施策を通して、2030年までに女性管理職比率20%を目指したい。

Q5. 配当性向について
A5. 当社の利益配分は、 認定放送持株会社としての責任ある立場を踏まえ、財務体質の強化・維持と企業価値の向上および成長戦略投資とのバランスを考慮しつつ、業績、配当性向、適切な内部留保等を総合的に勘案して対応していく。当期の配当性向は21%だが、継続的かつ安定的に、長期的な株主還元を目指す方針である。

Q6. ABCラジオにおける他社（文化放送、ニッポン放送）制作の野球中継放送について
A6. ニッポン放送、文化放送制作の両局とはネットワーク提携をしており、曜日によって両局が制作した野球中継を放送している。両社とは引き続き連携し、解説や実況を含め、高品質な野球中継を引き続きお届けしていく。

Q7. ABC開発によるアドバンス開発の買収について
A7. ABC開発は「ABCハウジング」のブランドのもと、関西圏の14会場を運営し、現在関西でトップシェアである。これにアドバンス開発が保有する４会場を加えることで相乗効果を図り、従来の展示場事業の収益性を向上させることが狙い。

Q8. 若年層の株主ファン獲得について
A8. ４万人以上の個人株主がいるが、年齢層の高い方々が多いと推測している。全世代に訴えるコンテンツ制作や統合報告書の制作を推進し、様々な世代のファン株主を増やしたい。

Q9. YouTubeの虎バンのチャンネルについて
A9. 当該チャンネルは50万人の登録数に到達した。取材したコンテンツを放送以外の様々な場所で公開することで、スポーツ担当者のモチベーションアップにつながっている。今後、YouTube由来の収益性を高めつつ、イベントなどにも取り組みたい。

Q10. 離職者にむけた人権アンケートについて
A10. 先述の通り、当社では人権デューディリジェンスに取り組んでおり、今年２月には（在職者に向けて）人権アンケートを実施した。アンケート実施は一度実施して終わりではない。アンケートあり方については引き続き検討をする。

Q11. コンテンツの海外販売展開について
A11. 海外市場展開は重視しており、朝日放送テレビの子会社であるABCフロンティアでビジネス展開を行っている。各種バラエティ番組を販売しているが、今後はドラマのセールスを強化したい。またアニメも競争力が強く、アニメの海外展開も推進する。

Q12. 篠山マラソンについて
A12. 丹波篠山ABCマラソンは、当社のみならず丹波篠山市にとっても貴重なイベントであり、

継続して取り組みたい。制限時間を延ばすなど、多くのマラソンランナーに参加いただける取り組みも行っている。

Q13. YouTubeでの取り組みについて

A13. 報道番組では放送コンテンツを再編集し、YouTubeチャンネルに投稿している。また制作番組ではナイトinナイト枠の番組で取り上げげたお店情報を投稿している。番組のコーナーを切り抜いて投稿するような取り組みについても順次検討をしていきたい。

Q14. PBRと配当について

A14. PBR向上に向けて、資産の見直しを進めキャッシュの積み上げを行っている。今後株主還元と、成長投資のバランスを取っていくことで改善を図る。またコンテンツ事業会社の収益率を高め、配当にも反映していきたい。

Q15. 株主優待について

A15. 現在、株主優待として保有する単元数に応じて500円、3,000円のQUOカードを贈呈している。今後は、コンテンツの利用も含め、ファン株主のためにできることを検討したい。視聴者、リスナーあってのABCグループであるため、株主配当とのバランスにも鑑みながら考えていく。

なお、第98回定時株主総会における議決権行使結果については、6 月26日（木）、EDINETを通じて金融庁に開示する他、当社ホームページにおいても開示しております。

以上